

# 良い見本ではありません。 参考にしないでください

出願研究科：情報科学研究科

氏 名：林部祐太

希望講座：自然言語処理学講座

取り組みたい研究テーマ：自動文章平易化システム

NAIST で取り組みたいと思っているテーマは、「自動文章平易化システム」です。

私がこのテーマにしようと思ったのは、大学の授業の勉強をしていて、同じテーマの教科書でも分かりやすいものと、分かりにくいものがあることに気づいたときです。例えば、同じ定理を説明するときでも、読者にとって具体的で分かりやすいものもあれば、抽象的過ぎて何を言いたいのかわからないものもあります。もし、どちらかを選べる状況ならば前者を選びますが、分野によっては文献が限られているものもあります。私は、初等整数論を学んでいるとき、大学の図書館で色々参考書を読んでみたのですが、あまりよく分からず、結局友人に教えてもらったことがありました。そのとき、半ば夢ながら、難解な説明を自動で簡単にしてくれるシステムがあればいいなと思いました。

私にわかりやすくできないかと考えている分野は、数学だけではなく、法律であったり、製品の取り扱い説明書であったりと多数あります。私の最終的な目標は、分野に関わらず、読者のレベルに応じた平易な文章を自動で変換できるシステムを作ることです。しかし、そのためには多数の解決すべき問題があります。

まず、文字として記述されている事柄をシステムが読み取った後、システムに意味を解釈させる必要があります。意味解釈では、単に辞書に記述されている意味を結合すればよいのではなく、言外の暗示的意味を推測させる必要もあります。そして、その意味を読み手のレベルに応じて言い換えるには、理解しやすい表現とはどのようなものかを考える必要がありますし、もともとの表現での真意を失わない言い換えである語用論的言い換えも必要です。

現状では、形態素解析や構文解析(係り受け解析)といった、文字としての処理はかなり研究が進んでいるものの、意味解析や、暗示的意味や文脈把握のための常識獲得はまだまだ研究が必要です。また、語用論的言い換えを達成するには、工学的なアプローチだけではなく、心理学や言語学からのアプローチが不可欠だと思われます。

このように、私が取り組みたい研究テーマは様々な技術が要求される究極的な課題で、簡単に実現するものではありません。また、今までには考えもしなかった切り込み方や課題もあると思います。しかし、この大きな枠組みを元に、NAIST で自然言語処理に対する知識を得て1つ1つ取り組んでいきたいと思っています。

さらに私は、理論的な研究のみを行うのではなく、ある理論を考え出したら、それを実装したソフトウェアを作るなどして理論的成果を実社会に還元したいと思っています。分かりやすい形で公開することで一般の方にも興味を持ってもらい、自然言語処理の裾野が広がったり、そのソフトウェアの欠点等をフィードバックしてさらなる研究課題の発見などもできるでしょう。そのため、研究成果の応用は重要だと考えます。

私が NAIST で学びたいと思った理由は大きく分けて2つあります。まず、独立大学院大学であ

良い見本ではありません。  
参考にしないでください

出願研究科：情報科学研究科  
氏 名：林部祐太

り，大学院から新しい研究を始めやすい環境であることです．NAIST には情報科学関連の多くの講座があり，広く深い情報技術の知識を得ることができます．先日参加したスプリングセミナーで，先輩方から色々な自然言語処理の話詳しくして頂きました．話を頂いた先輩はみな，NAIST に入ってから自然言語処理を始めたそうですが，とても奥が深く，大学院から研究を始めてもやる気次第で，しっかりと研究することができると思いました．

さらに，学術的な面だけではなく，寮を設置していたり，飛び級に関して親身に相談に乗って下さった所など，学生を大切にされていて，学習・研究生活を行っていく上で非常に充実した環境であることを実感しています．

このような豊かな環境である NAIST で，先生方・先輩から色々なことを吸収していき，また自ら仲間と切磋琢磨することで，自然言語処理に貢献できる研究をしたいと思います．NAIST での大学院生活をとても楽しみにしています．